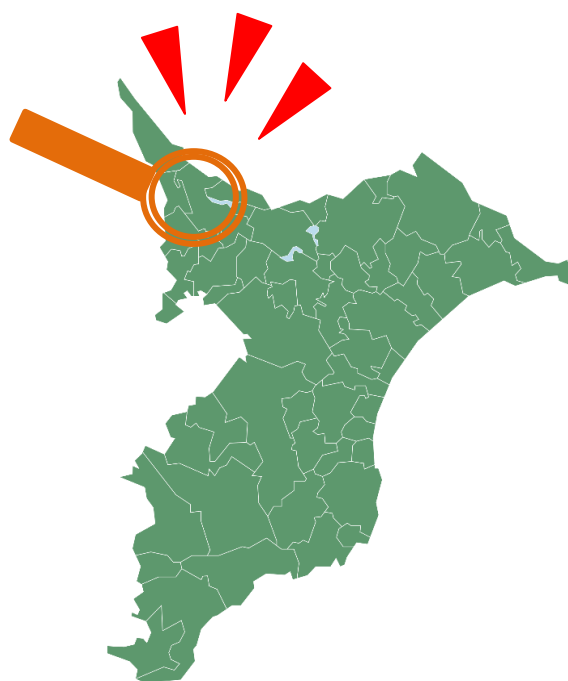


2021・11

# 柏の景気情報

令和3（2021）年11月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

T E L : 04-7162-3305

F A X : 04-7162-3323

U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E - m a i l : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

# 柏の景気情報 (令和3年11月の調査結果のポイント)

## ★調査結果のまとめ

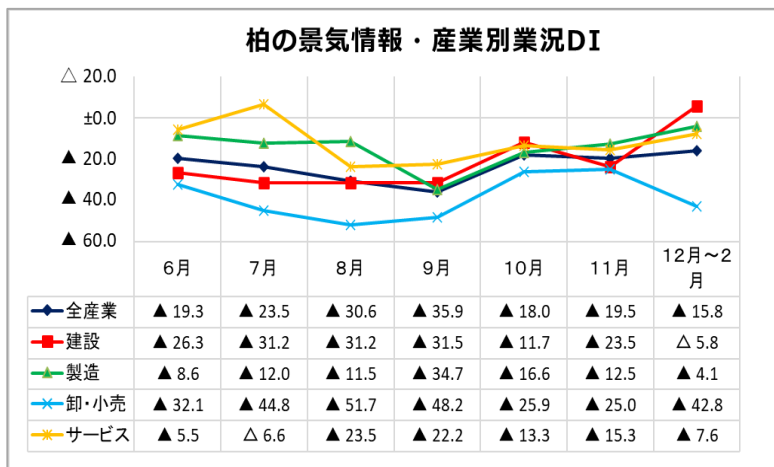
調査期間：令和3年11月25日～12月7日 調査対象：柏市内128事業所及び組合にヒアリング、回答数82件

## 全産業DIは再び悪化。先行きはコロナ変異株の動向を懸念しつつ、回復に期待

11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.5(前月水準▲18.0)となり、マイナス幅が1.5ポイント拡大した。

製造業、卸小売業はDI値が改善し、受注の好調や客足の増加についてコメントが寄せられた。ただ、特に製造業では原材料の高騰や原油高の影響が続き、利益圧迫の声が多い。建設業、サービス業はDI値が悪化。年末需要はあるが、材料の値上げや人出不足が継続、飲食店では席の間引き営業による売上減少についてコメントが寄せられた。

先行きDI値は▲15.8(今月比+3.7)である。コロナ変異株の動向を懸念しつつ、特に建設業ではプラスに転じる見込みで、回復への期待が高い。



## ★業種別の動向

前月と比べたDI値の動き 改善 横ばい 悪化



建設業

「年度末に向けて発注が多い」(土木工事)、「製品が入らず、問屋に発注しても納期が2か月先になりそうだと連絡があり、商売にならない」(瓦斯機器、暖房空調工事)、「コロナ禍で会合などコミュニケーションの場が減少したため、情報不足」(塗装工事)、「年末までに畳を新しくしたいという需要増加」(畳)、「材料費の値上がりに歯止めがかからない上、人手不足や材料の搬入が遅れていて仕事はかどらない。締め時点では売上にない状況が続いている」(とび)



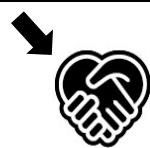
製造業

「コロナの影響を最も受ける顧客の棚卸と重なり、今月の営業収支は最悪。新企画の生産が始まれば収支好転が期待できる」(プラスチック加工)、「緊急事態宣言が解除され売上は増加したが、コロナ前には全く届かない。円安や原油高で資材の値上がりも大きい。生産性の向上やコストリダクションで利益を確保したい」(酒類)、「受注の低迷が続く中、原材料が高騰し、業績は悪化の一途を辿っている」(電子応用装置)、「ステンレス材の高騰、入荷遅延が大きく影響。東南アジアから部品供給の見通しが立たず、弊社商品も出荷待ちの状態。値上げ交渉を地道に継続。寒い季節の入り、コロナに加えインフルエンザやノロウイルス等の対策に気を配る」(金属製品)、「電気部品の納期遅延問題の先行きが見えない。受注は好調だが生産に支障が出ている。また、原材料の上昇が利益を圧迫。ただ、受注が少なかった昨年同月よりは好転」(機械・同部品)、「自社製品の売上がコロナの落ち着きと共に伸びているが、原材料や燃料費の値上げで採算悪化が懸念される。販売アイテムによって売上の増減が激しい」(自動車付属品)、「業界事態がようやく上向いたが、コロナ変異株の感染次第で下方修正もあり得る」(鉄鋼)、「コロナで客先と打ち合わせができず延期していた設備投資が、最近の感染者減で進んでいる。しかし、新しい変異株の発生により予断を許さない状況」(一般産業用機械・装置)



卸・小売業

「緊急事態宣言が解除され、お客さまの動きも変化。衣料、住居余暇商品は戻りつつあるが、まだまだ。食品のトレンドが少し落ち、完全内食から外食へ少しづつ流れている。衣料、食品、住余が、2020年数値に近づけるように、バランスの良い方向に進みたい」(大型小売店)、「人の流れ、客足がようやく戻ってきた。対策を緩めず気をつけたい」(各種商品小売)、「緊急事態宣言の解除後、お客様の意識が変わったのか来店数が激減。対策を考えたい」(洋品雑貨・小間物小売)、「クリスマス予約の動きが例年より鈍い」(洋菓子店)



サービス業

「席の間引き営業により、満席時の売上はコロナ前より減少。席効率を上げた場合は、従業員確保に問題あり」(日本料理)、「昨年、公立高校入試が1回のみに変更されたことに加え、高校の就学支援金の支給上限額が引き上げられたため、無理に受験せず推薦で私立高校に進学を決める生徒が多くいた。その影響で、昨年は冬期講習や1月2月の売上が上がらなかった。今年もその傾向が続くのではないかと懸念している」(学習塾)、「運賃据え置きの中、燃料の高騰が利益を大幅に圧縮している」(一般貨物自動車運送)、「新規ユーザ開拓に向けて奮闘」(ソフトウェア)、「売り物件が減少し、地価も上昇。一般顧客からの需要は強い」(不動産管理)

## ★全国の商工会議所早期景気観測調査(CCI-LOBO)との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲19.5に対し、「CCI-LOBO」が▲21.1で柏の方がマイナス幅が1.6ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、卸小売業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業である。

# CC I - L O B O

## 商工会議所早期景気観測(11月速報)

調査期間：2021年11月12日～18日

調査対象：全国の337商工会議所が2,626企業にヒアリング調査を実施

### 全国の業況

**業況DIは、2カ月連続の改善。先行きは、改善見込むもコスト上昇圧力が重荷**

11月の全産業合計の業況DIは、▲21.1と、前月から+7.8ポイントの改善。全業種において業況は改善。時短要請や活動制限の緩和に伴い、客足が戻りつつある外食・観光関連のサービス業や、民間工事が持ち直しつつある建設業などで業況改善の動きがみられる。一方で、製造業、卸売業を中心に、半導体不足や部品供給制約による生産活動への影響が継続している。幅広い業種で、鉄鋼などの原材料費や原油価格を含む資源価格の上昇などのコスト増加が続いており、中小企業の景況感には動きがみられるものの、力強さを欠く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲17.5（今月比+3.6ポイント）と改善を見込む。感染対策と社会経済活動の両立に向けた国・自治体の動きの加速による、年末年始の商戦を契機とし

た個人消費拡大や、国内の観光需要回復などへの期待感がうかがえる。一方で、半導体不足や部品供給制約の長期化、資源価格の高騰、円安の進行、原材料費上昇分の価格転嫁の遅れなど、コスト上昇圧力が重荷となり、中小企業においては、先行きへの慎重な姿勢が続く。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

**業種別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、全ての業種で改善した。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。**

【建設業】「銅の価格上昇により、電線やケーブルの価格が上昇しているが、顧客とは価格上昇前の見積もりで契約しているため、価格転嫁が難しく対応に苦慮している」(電気通信工事業、「住環境の充実を求める消費者が増えており、住宅リフォームの受注により売上を確保している。ただし、東南アジアでの感染拡大により給湯器

や温水便座などが入手困難となっており、納期に影響が生じている」(一般工事業)

【製造業】「半導体不足や海外からの原材料の納期の遅れにより、製品を納品できず、売上は悪化」(金属加工機械製造業)、「化粧品会社向けのパッケージの受注が回復しており、売上は改善。今後、制限緩和による消費者の外出機会の増加に伴い、売上が回復していくことを期待している」(紙製品製造業)

【卸売業】「イベント向けの売上が少しずつ改善しており、今後の一段の売上増を期待している。ただし、原油価格の上昇により取引先から包装資材の値上げ要請がきており、コスト増加に苦慮している」(食料・飲料卸売業、「IT機器関連の受注が堅調なもの、仕入先の半導体不足や海外製造部品の供給制約により、納期に遅れが生じている」(電気機械器具卸売業)

善。来月にかけて、クリスマスケーキやお歳暮の予約会を開催し、さらなる売上増を目指す」(百貨店)、「緊急事態宣言等の解除以降、客足は回復しているものの、客単価が低下しており売上は伸び悩んでいる。内食需要も落ち着きつつあり、今後は非接触化など生活様式の変化に対応した販促・営業活動を検討していく」(総合スーパー)

【サービス業】「制限緩和により、宿泊需要が戻りつつあるが、従業員が不足しているため、定員客数の対応ができていない。また、カニの仕入価格が上昇しており、今後の収益圧迫を懸念している」(宿泊業、「売上は改善傾向にあるものの、食用油など食料品の価格上昇や最低賃金引上げによる人件費の上昇が負担となっており、改めて価格転嫁を検討している」(飲食業)

### 全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

|     | 全産業   | 建設    | 製造    | 卸売    | 小売    | サービス  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 6月  | ▲26.7 | ▲19.8 | ▲14.6 | ▲25.8 | ▲41.8 | ▲30.6 |
| 7月  | ▲24.1 | ▲18.2 | ▲9.7  | ▲28.3 | ▲37.6 | ▲28.9 |
| 8月  | ▲29.4 | ▲20.9 | ▲12.5 | ▲30.7 | ▲44.4 | ▲37.9 |
| 9月  | ▲33.2 | ▲18.7 | ▲18.1 | ▲35.0 | ▲48.0 | ▲43.8 |
| 10月 | ▲28.9 | ▲22.1 | ▲14.7 | ▲32.1 | ▲42.2 | ▲34.8 |
| 11月 | ▲21.1 | ▲18.2 | ▲13.7 | ▲20.8 | ▲35.2 | ▲18.9 |
| 見通し | ▲17.5 | ▲17.6 | ▲16.7 | ▲15.8 | ▲25.9 | ▲12.3 |

# 今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

| 景気天気図         | <br>特に好調<br>DI ≥ 50 | <br>好調<br>50 > DI ≥ 25 | <br>まあまあ<br>25 > DI ≥ 0 | <br>不振<br>0 > DI ≥ ▲25 | <br>極めて不振<br>▲25 > DI |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>業況DI</b>   | 全産業                                                                                                  | 建設                                                                                                      | 製造                                                                                                       | 卸小売                                                                                                       | サービス                                                                                                     |
| 柏の景気          | <br>▲ 19.5          | <br>▲ 23.5             | <br>▲ 12.5              | <br>▲ 25.0             | <br>▲ 15.3            |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 21.1          | <br>▲ 18.2             | <br>▲ 13.7              | <br>▲ 35.2             | <br>▲ 18.9            |
| <b>売上DI</b>   | 全産業                                                                                                  | 建設                                                                                                      | 製造                                                                                                       | 卸小売                                                                                                       | サービス                                                                                                     |
| 柏の景気          | <br>▲ 24.3          | <br>▲ 29.4             | <br>▲ 8.3               | <br>▲ 32.1             | <br>▲ 30.7            |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 17.4          | <br>▲ 15.8             | <br>▲ 7.8               | <br>▲ 33.0             | <br>▲ 18.0            |
| <b>採算DI</b>   | 全産業                                                                                                  | 建設                                                                                                      | 製造                                                                                                       | 卸小売                                                                                                       | サービス                                                                                                     |
| 柏の景気          | <br>▲ 26.8         | <br>▲ 29.4            | <br>▲ 16.6             | <br>▲ 39.2            | <br>▲ 15.3           |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 26.9        | <br>▲ 22.7           | <br>▲ 21.6            | <br>▲ 37.1           | <br>▲ 30.1          |
| <b>仕入単価DI</b> | 全産業                                                                                                  | 建設                                                                                                      | 製造                                                                                                       | 卸小売                                                                                                       | サービス                                                                                                     |
| 柏の景気          | <br>▲ 60.9        | <br>▲ 52.9           | <br>▲ 91.6            | <br>▲ 50.0           | <br>▲ 38.4          |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 55.8        | <br>▲ 76.7           | <br>▲ 64.5            | <br>▲ 45.4           | <br>▲ 45.9          |
| <b>従業員DI</b>  | 全産業                                                                                                  | 建設                                                                                                      | 製造                                                                                                       | 卸小売                                                                                                       | サービス                                                                                                     |
| 柏の景気          | <br>8.5           | <br>17.6             | <br>4.1               | <br>3.5              | <br>15.3            |
| CCI-LOBO      | <br>14.9          | <br>29.7             | <br>9.0               | <br>9.7              | <br>17.2            |
| <b>資金繰りDI</b> | 全産業                                                                                                  | 建設                                                                                                      | 製造                                                                                                       | 卸小売                                                                                                       | サービス                                                                                                     |
| 柏の景気          | <br>▲ 15.8        | <br>± 0.0            | <br>▲ 16.6            | <br>▲ 28.5           | <br>▲ 7.6           |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 16.6        | <br>▲ 5.8            | <br>▲ 14.1            | <br>▲ 25.9           | <br>▲ 21.0          |

# 令和3年（2021年）11月の動向

## 【業況について】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.5（前月水準▲18.0）となり、マイナス幅が1.5ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲12.5(同▲16.6)、卸小売業▲25.0(同▲25.9)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲23.5(同▲11.7)、サービス業▲15.3(同▲13.3)である。

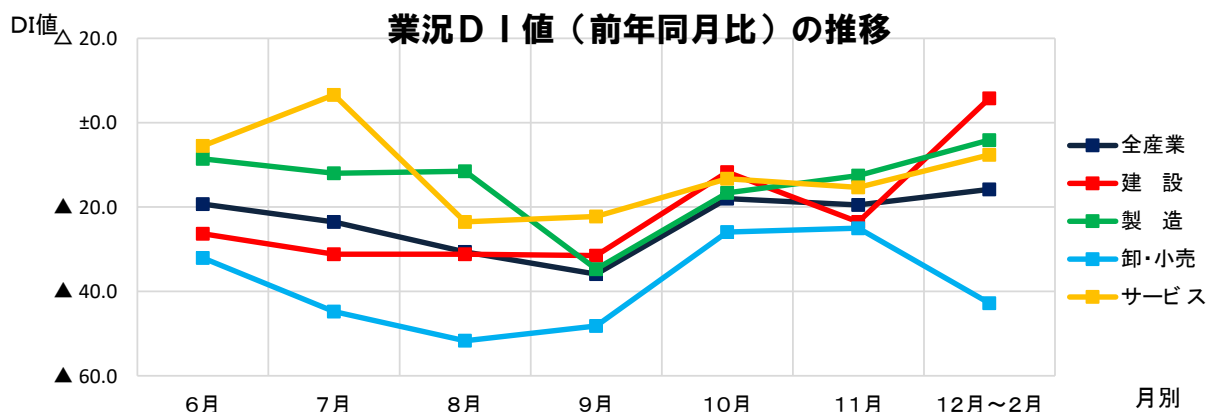
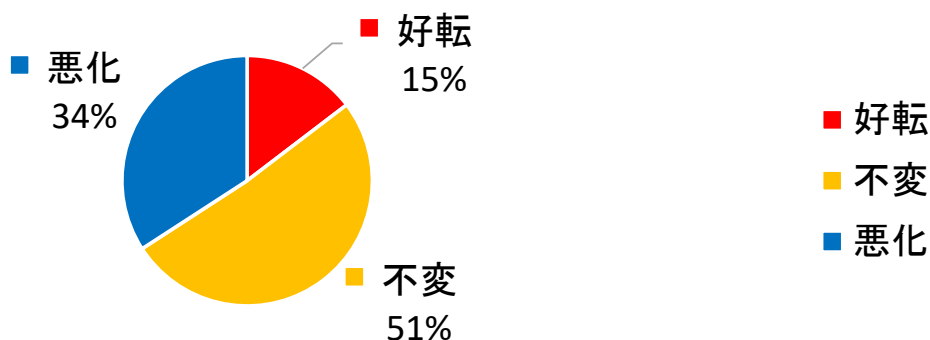
○ 向こう3ヶ月（12月から2月）の先行き見通しについては、全産業では、▲15.8（前月水準▲2.4）となり、マイナス幅が13.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、製造業▲4.1(同▲12.5)である。変らない見通しの業種は、建設業△5.8(同△5.8)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲7.6(同△20.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲42.8(同▲11.1)である。

業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI＝「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合

|      | 令和3年<br>6月 | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 先行き見通し<br>12月～2月（11月～1月） |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業  | ▲19.3      | ▲23.5 | ▲30.6 | ▲35.9 | ▲18.0 | ▲19.5 | ▲15.8（▲2.4）              |
| 建設   | ▲26.3      | ▲31.2 | ▲31.2 | ▲31.5 | ▲11.7 | ▲23.5 | △5.8（△5.8）               |
| 製造   | ▲8.6       | ▲12.0 | ▲11.5 | ▲34.7 | ▲16.6 | ▲12.5 | ▲4.1（▲12.5）              |
| 卸・小売 | ▲32.1      | ▲44.8 | ▲51.7 | ▲48.2 | ▲25.9 | ▲25.0 | ▲42.8（▲11.1）             |
| サービス | ▲5.5       | △6.6  | ▲23.5 | ▲22.2 | ▲13.3 | ▲15.3 | ▲7.6（△20.0）              |

前年同月と比べた今月の業況について



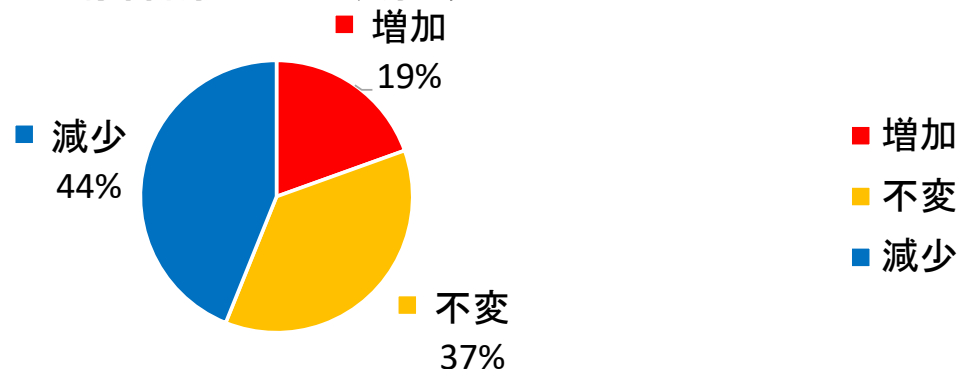
## 【売上について】

- 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲24.3(前月水準▲16.8)となり、マイナス幅が7.5ポイント拡大した。
- 業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲8.3(同▲29.1)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲29.4(同△11.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲30.7(同▲20.0)、卸小売業▲32.1(同▲22.2)である。
- 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲10.9(前月水準△2.4)となり、マイナス幅が13.3ポイント拡大する見通しである。
- 業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、製造業△4.1(同▲4.1)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業±0.0(同△5.8)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲7.6(同△20.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲32.1(同▲3.7)である。

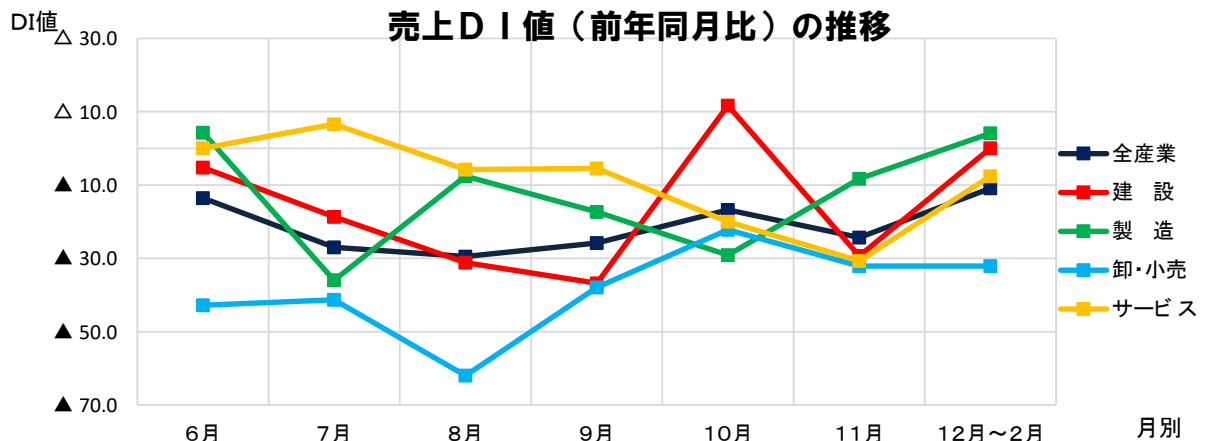
売上DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

|      | 令和3年<br>6月 | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 先行き見通し<br>12月～2月(11月～1月) |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業  | ▲13.6      | ▲27.0 | ▲29.5 | ▲25.8 | ▲16.8 | ▲24.3 | ▲10.9(△2.4)              |
| 建設   | ▲5.2       | ▲18.7 | ▲31.2 | ▲36.8 | △11.7 | ▲29.4 | ±0.0(△5.8)               |
| 製造   | △4.3       | ▲36.0 | ▲7.6  | ▲17.3 | ▲29.1 | ▲8.3  | △4.1(▲4.1)               |
| 卸・小売 | ▲42.8      | ▲41.3 | ▲62.0 | ▲37.9 | ▲22.2 | ▲32.1 | ▲32.1(▲3.7)              |
| サービス | ±0.0       | △6.6  | ▲5.8  | ▲5.5  | ▲20.0 | ▲30.7 | ▲7.6(△20.0)              |

### 前年同月と比べた今月の売上について



### 売上DI値(前年同月比)の推移





## 【採算について】

- 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲26.8(前月水準▲22.8)となり、マイナス幅が4.0ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、サービス業▲15.3(同▲20.0)である。変らない業種は、製造業▲16.6(同▲16.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲29.4(同▲17.6)、卸小売業▲39.2(同▲33.3)である。

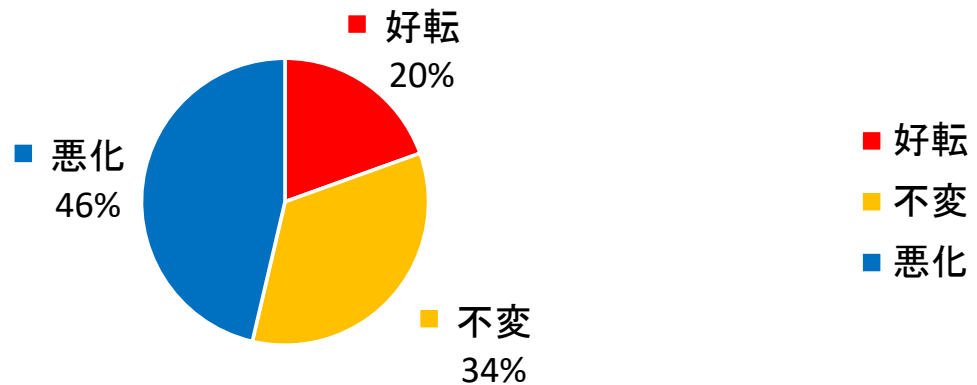
- 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲19.5(前月水準▲3.6)であり、マイナス幅が15.9ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、製造業▲4.1(同▲12.5)である。変らない見通しの業種は、建設業±0.0(同±0.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲7.6(同△20.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲50.0(同▲11.1)である。

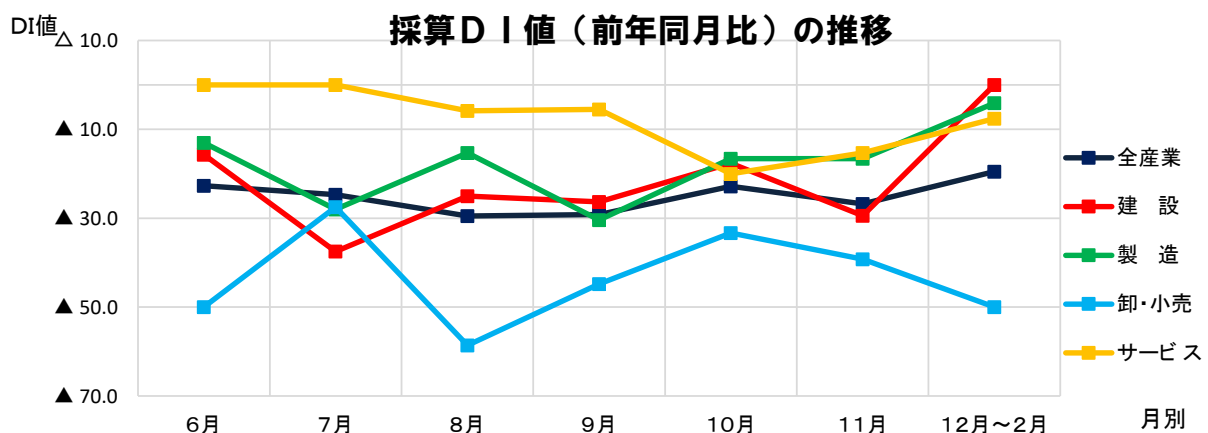
採算DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

|      | 令和3年<br>6月 | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 先行き見通し<br>12月~2月(11月~1月) |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業  | ▲22.7      | ▲24.7 | ▲29.5 | ▲29.2 | ▲22.8 | ▲26.8 | ▲19.5(▲3.6)              |
| 建設   | ▲15.7      | ▲37.5 | ▲25.0 | ▲26.3 | ▲17.6 | ▲29.4 | ±0.0(±0.0)               |
| 製造   | ▲13.0      | ▲28.0 | ▲15.3 | ▲30.4 | ▲16.6 | ▲16.6 | ▲4.1(▲12.5)              |
| 卸・小売 | ▲50.0      | ▲27.5 | ▲58.6 | ▲44.8 | ▲33.3 | ▲39.2 | ▲50.0(▲11.1)             |
| サービス | ±0.0       | ±0.0  | ▲5.8  | ▲5.5  | ▲20.0 | ▲15.3 | ▲7.6(△20.0)              |

前年同月と比べた今月の採算について



採算DI値(前年同月比)の推移



## 【仕入単価について】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲60.9(前月水準▲53.0)となり、マイナス幅が7.9ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、サービス業▲38.4(同▲40.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲91.6(同▲75.0)、建設業▲52.9(同▲41.1)、卸小売業▲50.0(同▲48.1)である。

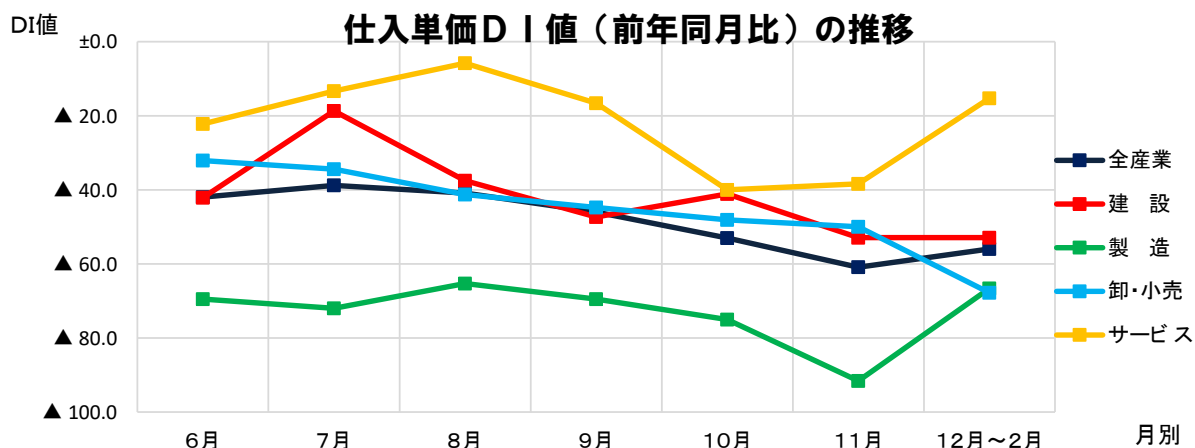
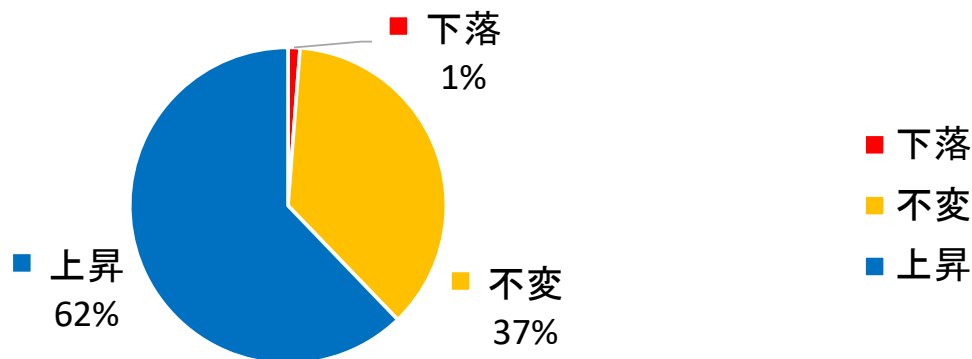
○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲56.0(前月水準▲48.1)となり、マイナス幅が7.9ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、製造業▲66.6(同▲75.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲67.8(同▲48.1)、建設業▲52.9(同▲41.1)、サービス業▲15.3(同▲13.3)である。

仕入単価DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合

|      | 令和3年<br>6月 | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 先行き見通し<br>12月～2月(11月～1月) |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業  | ▲42.0      | ▲38.8 | ▲40.9 | ▲46.0 | ▲53.0 | ▲60.9 | ▲56.0(▲48.1)             |
| 建設   | ▲42.1      | ▲18.7 | ▲37.5 | ▲47.3 | ▲41.1 | ▲52.9 | ▲52.9(▲41.1)             |
| 製造   | ▲69.5      | ▲72.0 | ▲65.3 | ▲69.5 | ▲75.0 | ▲91.6 | ▲66.6(▲75.0)             |
| 卸・小売 | ▲32.1      | ▲34.4 | ▲41.3 | ▲44.8 | ▲48.1 | ▲50.0 | ▲67.8(▲48.1)             |
| サービス | ▲22.2      | ▲13.3 | ▲5.8  | ▲16.6 | ▲40.0 | ▲38.4 | ▲15.3(▲13.3)             |

前年同月と比べた今月の仕入単価について





## 【従業員について】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△8.5(前月水準△9.6)となり、プラス幅が1.1ポイント縮小した。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業△3.5(同±0.0)、サービス業△15.3(同△13.3)である。変らない業種は、製造業△4.1(同△4.1)である。プラス幅が縮小した業種は、建設業△17.6(同△29.4)である。

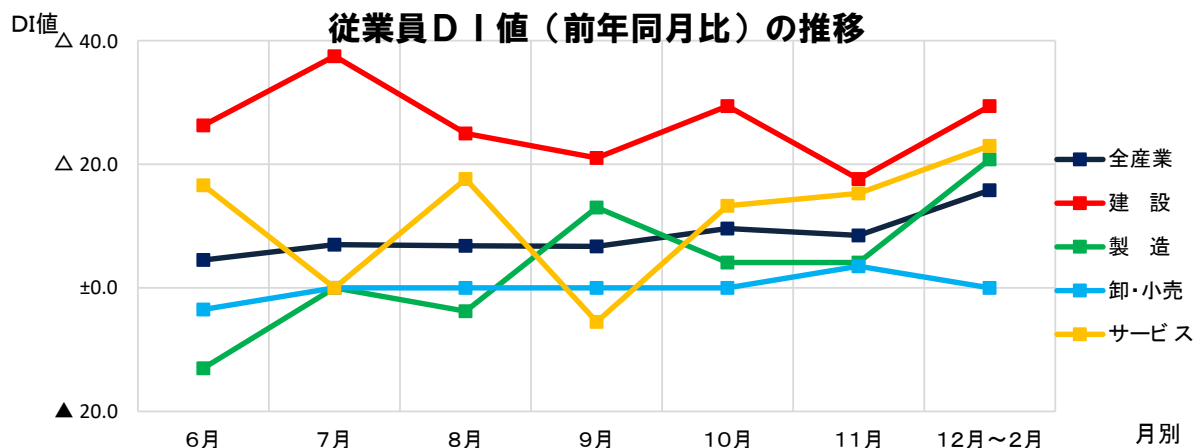
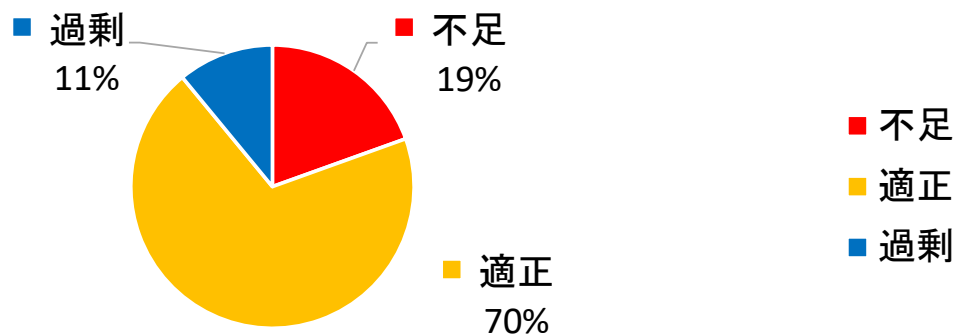
○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、△15.8(前月水準△16.8)となり、プラス幅が1.0ポイント縮小した。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業△29.4(同△23.5)、製造業△20.8(同△16.6)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業±0.0(同△7.4)、サービス業△23.0(同△26.6)である。

従業員DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

|      | 令和3年<br>6月 | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 先行き見通し<br>12月～2月(11月～1月) |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業  | △4.5       | △7.0  | △6.8  | △6.7  | △9.6  | △8.5  | △15.8(△16.8)             |
| 建設   | △26.3      | △37.5 | △25.0 | △21.0 | △29.4 | △17.6 | △29.4(△23.5)             |
| 製造   | ▲13.0      | ±0.0  | ▲3.8  | △13.0 | △4.1  | △4.1  | △20.8(△16.6)             |
| 卸・小売 | ▲3.5       | ±0.0  | ±0.0  | ±0.0  | ±0.0  | △3.5  | ±0.0(△7.4)               |
| サービス | △16.6      | ±0.0  | △17.6 | ▲5.5  | △13.3 | △15.3 | △23.0(△26.6)             |

前年同月と比べた今月の従業員について



## 【資金繰りについて】

- 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲15.8(前月水準▲13.2)となり、マイナス幅が2.6ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲16.6(同▲25.0)、建設業±0.0(同▲5.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲7.6(同△13.3)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲28.5(同▲22.2)である。

- 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲10.9(前月水準▲15.6)となり、マイナス幅が4.7ポイント縮小する見通しである。

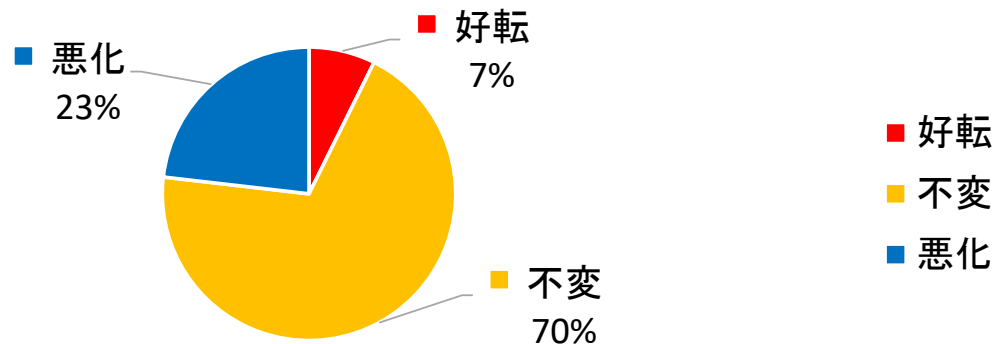
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲8.3(同▲29.1)、建設業±0.0(同▲5.8)である。変らない見通しの業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲25.0(同▲18.5)である。

### 資金繰りDI値(前年同月比)の推移

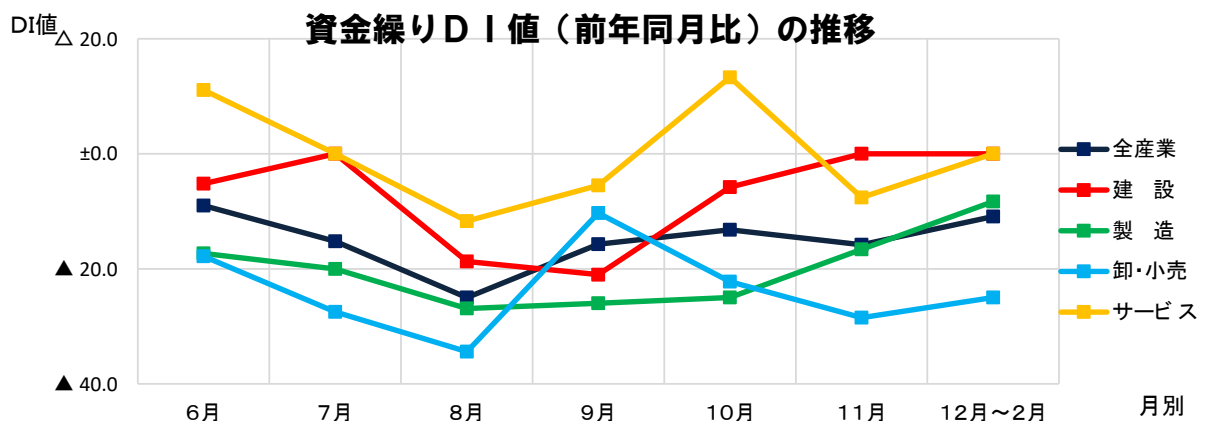
※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

|      | 令和3年<br>6月 | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 先行き見通し<br>12月～2月(11月～1月) |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 全産業  | ▲9.0       | ▲15.2 | ▲25.0 | ▲15.7 | ▲13.2 | ▲15.8 | ▲10.9(▲15.6)             |
| 建設   | ▲5.2       | ±0.0  | ▲18.7 | ▲21.0 | ▲5.8  | ±0.0  | ±0.0(▲5.8)               |
| 製造   | ▲17.3      | ▲20.0 | ▲26.9 | ▲26.0 | ▲25.0 | ▲16.6 | ▲8.3(▲29.1)              |
| 卸・小売 | ▲17.8      | ▲27.5 | ▲34.4 | ▲10.3 | ▲22.2 | ▲28.5 | ▲25.0(▲18.5)             |
| サービス | △11.1      | ±0.0  | ▲11.7 | ▲5.5  | △13.3 | ▲7.6  | ±0.0(±0.0)               |

### 前年同月と比べた今月の資金繰りについて



### 資金繰りDI値(前年同月比)の推移



# 調査結果のポイント

## 《全産業DⅠは再び悪化。先行きはコロナ変異株の動向を懸念しつつ、回復に期待》

11月の全産業合計のDⅠ値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.5(前月水準▲18.0)となり、マイナス幅が1.5ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲12.5(同▲16.6)、卸小売業▲25.0(同▲25.9)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲23.5(同▲11.7)、サービス業▲15.3(同▲13.3)である。

製造業、卸小売業はDⅠ値が改善し、受注の好調や客足の増加についてコメントが寄せられた。ただ、特に製造業では原材料の高騰や原油高の影響が続き、利益圧迫の声が大きい。建設業、サービス業はDⅠ値が悪化。年末需要はあるが、材料の値上げや人出不足が継続、飲食店では席の間引き営業による売上減少についてコメントが寄せられた。

先行きDⅠ値は▲15.8(今月比+3.7)である。コロナ変異株の動向を懸念しつつ、特に建設業ではプラスに転じる見込みで、回復への期待が高い。

【建設業】からは、「年度末に向けて発注が多い」(土木工事)、「製品が入らず、問屋に発注しても納期が2か月先になりそうだと連絡があり、商売にならない」(瓦斯機器、暖房空調工事)、「このままコロナが終息に向かい、2年前の状況に戻れば景気はとてども改善される。コロナ禍で会合などコミュニケーションの場が減少したため、情報不足」(塗装工事)、「年末までに量を新しくしたいという需要増加」(畳)、「材料費の値上がりに歯止めがかからない上、人手不足や材料の搬入が遅れていて仕事はかどらない。締めの特典で売上にならない状況が続いている」(とび)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「コロナの影響を最も受ける顧客の棚卸と重なり、今月の営業収支は最悪。新企画の生産が始まれば収支好転が期待できる」(プラスチック加工)、「緊急事態宣言が解除され売上は増加したが、コロナ前には全く届かない。円安や原油高で資材の値上がりも大きい。生産性の向上やコストリダクションで利益を確保したい」(酒類)、「受注の低迷が続く中、原材料が高騰し、業績は悪化の一途を辿っている」(電子応用装置)、「ステンレス材の高騰、入荷遅延が大きく影響。東南アジアから部品供給の見通しが立たず、弊社商品も出荷待ちの状態。値上げ交渉を地道に継続。寒い季節の入り、コロナに加えインフルエンザやノロウイルス等の対策に気を配る」(金属製品)、「電気部品の納期遅延問題の先行きが見えない。受注は好調だが生産に支障が出ている。また、原材料の上昇が利益を圧迫。ただ、受注が少なかった昨年同月よりは好転」(機械・同部品)、「自社製品の売上がコロナの落ち着きと共に伸びているが、原材料や燃料費の値上がりがコスト増となり、採算の悪化が懸念される。販売アイテムによって売上の増減が激しくなっている」(自動車付属品)、「業界事態がようやく上向いたが、コロナ変異株の感染次第で下方修正もあり得る」(鉄鋼)、「コロナで客先と打ち合わせができず延期していた設備投資が、最近の感染者減で進んでいる。しかし、新しい変異株の発生により予断を許さない状況」(一般産業用機械・装置)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「緊急事態宣言が解除され、お客さまの動きも変化。衣料、住居余暇商品は少し戻りつつあるが、まだまだ道半ば。食品のトレンドが少し落ち、完全内食から外食へ少しずつ流れている。衣料、食品、住余が、2020年数値に近づけるように、バランスの良い方向に進みたい」(大型小売店)、「人の流れ、客足がようやく戻ってきた。対策を緩めず気をつけたい」(各種商品小売)、「緊急事態宣言の解除後、お客様の意識が変わったのか来店数が激減。対策を考えたい」(洋品雑貨・小間物小売)、「クリスマス予約の動きが例年より鈍い」(洋菓子店)とのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「席の間引き営業により、満席時の売上はコロナ前より減少。席効率を上げた場合は、従業員確保に問題あり」(日本料理)、「昨年、公立高校入試が1回のみに変更されたことに加え、高校の就学支援金の支給上限額が引き上げられたため、無理に受験せず推薦で私立高校に進学を決めてしまう生徒が多かった。その影響で、昨年は冬期講習や1月2月の売上が上がらなかった。今年もその傾向が続くのではないかと懸念している」(学習塾)、「運賃据え置きの中、燃料の高騰が利益を大幅に圧縮している」(一般貨物自動車運送)、「新規ユーザ開拓に向けて奮闘」(ソフトウェア)、「売り物件が減少し、地価も上昇。一般顧客からの需要は強い」(不動産管理)などのコメントが寄せられた。

|     | 全産業   | 建設    | 製造    | 卸・小売  | サービス  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 6月  | ▲19.3 | ▲26.3 | ▲8.6  | ▲32.1 | ▲5.5  |
| 7月  | ▲23.5 | ▲31.2 | ▲12.0 | ▲44.8 | △6.6  |
| 8月  | ▲30.6 | ▲31.2 | ▲11.5 | ▲51.7 | ▲23.5 |
| 9月  | ▲35.9 | ▲31.5 | ▲34.7 | ▲48.2 | ▲22.2 |
| 10月 | ▲18.0 | ▲11.7 | ▲16.6 | ▲25.9 | ▲13.3 |
| 11月 | ▲19.5 | ▲23.5 | ▲12.5 | ▲25.0 | ▲15.3 |
| 見通し | ▲15.8 | △5.8  | ▲4.1  | ▲42.8 | ▲7.6  |

通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し

## 【産業別】 今月及び先行きのD I 値

|      | 売上高（受注・出荷） |        | 採算     |        | 仕入単価   |        | 従業員    |        |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      | 前年比        | 先行き    | 前年比    | 先行き    | 前年比    | 先行き    | 前年比    | 先行き    |
| 全業種  | ▲ 24.3     | ▲ 10.9 | ▲ 26.8 | ▲ 19.5 | ▲ 60.9 | ▲ 56.0 | △ 8.5  | △ 15.8 |
| 建 設  | ▲ 29.4     | ± 0.0  | ▲ 29.4 | ± 0.0  | ▲ 52.9 | ▲ 52.9 | △ 17.6 | △ 29.4 |
| 製 造  | ▲ 8.3      | △ 4.1  | ▲ 16.6 | ▲ 4.1  | ▲ 91.6 | ▲ 66.6 | △ 4.1  | △ 20.8 |
| 卸・小売 | ▲ 32.1     | ▲ 32.1 | ▲ 39.2 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 67.8 | △ 3.5  | ± 0.0  |
| サービス | ▲ 30.7     | ▲ 7.6  | ▲ 15.3 | ▲ 7.6  | ▲ 38.4 | ▲ 15.3 | △ 15.3 | △ 23.0 |

|      | 業況     |        | 資金繰り   |        |
|------|--------|--------|--------|--------|
|      | 前年比    | 先行き    | 前年比    | 先行き    |
| 全業種  | ▲ 19.5 | ▲ 15.8 | ▲ 15.8 | ▲ 10.9 |
| 建 設  | ▲ 23.5 | △ 5.8  | ± 0.0  | ± 0.0  |
| 製 造  | ▲ 12.5 | ▲ 4.1  | ▲ 16.6 | ▲ 8.3  |
| 卸・小売 | ▲ 25.0 | ▲ 42.8 | ▲ 28.5 | ▲ 25.0 |
| サービス | ▲ 15.3 | ▲ 7.6  | ▲ 7.6  | ± 0.0  |

# CCI - LOBOとの比較

## 【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

### 【業況DI】

全産業合計では、「柏の景気」が▲19.5に対し、「CCI-LOBO」が▲21.1で柏の方がマイナス幅が1.6ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、卸小売業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業である。

### 【売上DI】

全産業合計では、「柏の景気」が▲24.3に対し、「CCI-LOBO」が▲17.4で柏の方がマイナス幅が6.9ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、サービス業であり、建設業、サービス業は10ポイント以上悪い。

### 【採算DI】

全産業合計では、「柏の景気」が▲26.8に対し、「CCI-LOBO」が▲26.9で柏の方がマイナス幅が0.1ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、サービス業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業である。

### 【仕入単価DI】

全産業合計では、「柏の景気」が▲60.9に対し、「CCI-LOBO」が▲55.8で柏の方がマイナス幅が5.1ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業であり、建設業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業であり、製造業は10ポイント以上悪い。

### 【従業員DI】

全産業合計では、「柏の景気」が△8.5に対し、「CCI-LOBO」が△14.9で柏の方がプラス幅が6.4ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業、サービス業であり、建設業は10ポイント以上悪い。

### 【資金繰りDI】

全産業合計では、「柏の景気」が▲15.8に対し、「CCI-LOBO」が▲16.6で柏の方がマイナス幅が0.8ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業である。

## 【業種別】業界内トピックス

| 業種別   | 概 況                                                                                                                                                                  | トピック                            | 業種            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------|
| 建設業   | 年度末に向けて発注が多い。                                                                                                                                                        | 年度末                             | 土木工事業         |
|       | 製品が入らず、問屋に発注しても納期が2か月先になりそうだと連絡があり、商売になりません。                                                                                                                         | 納期遅延                            | 瓦斯機器、暖房空調工事業  |
|       | このままコロナウィルス感染拡大が終息に向かい、2年前の状況に戻れば景気はかなり改善される。コロナ禍によってビジネスモデルの変化は各業界で起こっているかもしれないが、建設業は現場作業になるので基本的には変化はない。変化があるとすれば会合やコミュニケーションの場が減少したため、情報不足があること。一刻も早く終息することを願います。 | 情報交換不足                          | 塗装工事業         |
|       | 年末までに畳を新しくしたいという需要増加。                                                                                                                                                | 年末需要                            | 畳工事請負・畳製造販売業  |
|       | 材料費の値上がりに歯止めがかからない上、人手不足や材料の搬入が遅れていて仕事のはかどりが悪く、締め時点で売上にならない状況が続いている。                                                                                                 | 材料の値上がり、搬入遅れ<br>人出不足            | とび            |
|       |                                                                                                                                                                      |                                 |               |
| 製造業   | 今月は新型コロナの影響を最も受ける顧客の棚卸と重なってしまい、営業収支是最悪の状況である。今後の見通しとして、新企画の生産が始まれば収支の好転も期待できる。                                                                                       | 営業収支最悪                          | プラスチック加工      |
|       | 緊急事態宣言も解除され、製品の売上は増加。ただし、コロナ禍以前の水準には全く届かない状況である。また、円安や原油高により資材等の値上がりも大きくなっている。生産性の向上やコストリダクションで少しでも利益を確保していきたい。                                                      | 売上増加<br>資材値上がり                  | 酒類製造業         |
|       | 依然として受注の低迷が続いており、追い打ちをかけるように原材料が高騰し、業績は悪化の一途を辿っている。                                                                                                                  | 受注低迷<br>原材料の高騰                  | 電子応用装置製造業     |
|       | 引続きステンレス材の高騰、入荷遅延が大きく影響している。東南アジアからの部品供給が見通しがたたないことから弊社の商品も出荷待ちが続いている。値上げ交渉を地道に続けている。寒い季節の入り、コロナウィルスに加えてインフルエンザやノロウイルスなどの感染症対策にも気を配りたい。                              | ステンレス材高騰、入荷遅延<br>値上げ交渉<br>感染症対策 | 金属製品          |
|       | 電気部品の納期遅延問題の先行きが見えておらず、受注は好調に推移しているものの生産に支障が生じている。また、原材料価格の大幅な上昇が利益を圧迫している状況です。（昨年同月の受注が少ない状況よりは好転しているとみています）                                                        | 受注好調<br>電気部品の納期遅延<br>原材料の高騰     | 機械・同部品製造業     |
|       | 業界事態はようやく上向きに来ているが、変異したコロナウィルスの全世界での感染次第で下方修正もあり得る。社内ではマスク着用、消毒、テレワーク・社外では飲食禁止等を引継ぎ実施。                                                                               | コロナ変異株<br>感染症対策の実施              | 鉄鋼業           |
|       | 新型コロナウィルスの影響で客先と打ち合わせができないため設備投資が延期されてきたが、最近の感染者減少で進むようになった。しかし、新しい変異株の発生で今後どのようなことになるのか予断を許さない状況。                                                                   | 設備投資前進                          | 一般産業用機械・装置製造業 |
|       | 受注、製作、施工で継続してきたけれど、現況は静観しながら変改していきたいと考えている。                                                                                                                          | 事業変改                            | 印刷業           |
|       | 自社製品の売上が新型コロナウィルスの落ち着きと共に伸びてきているが、原材料や燃料費の値上がりがコスト増となり、採算の悪化が懸念される。販売アイテムによって売上の増減が激しくなっている。                                                                         | 原材料、燃料費値上がり<br>商品により売上に差        | 自動車付属品製造業     |
|       |                                                                                                                                                                      |                                 |               |
| 卸・小売業 | 緊急事態宣言が解除され、制限の緩和でお客さまの動きも変化している。衣料、住居余暇商品も少し戻りつつありますが、まだまだ道半ば。食品のトレンドが少し落ち、完全内食から外食へ少しづつ流れている。衣料、食品、住余が、2020年数値に近づけるように、バランスの良い方向に進みたい。                             | 衣料、住余商品回復<br>食品トレンドの変化          | 大型小売店         |
|       | クリスマスの予約の動きが例年より鈍い。                                                                                                                                                  | クリスマス予約鈍化                       | 洋菓子店          |
|       | 人の流れ、客足がようやく戻ってきた。対策を緩めず気をつけたい。                                                                                                                                      | 客足増加                            | 各種商品小売業       |

## 【業種別】業界内トピックス

|       |                                                                                                                                                            |                        |             |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------|
|       | コロナによる緊急事態宣言が解除された後、お客様の意識が変わったのか来店数が激減しました。対策を考えたい。                                                                                                       | 来店数激減                  | 洋品雑貨・小間物小売業 |
| サービス業 | 席の間引き営業により、満席時の売上はコロナ前より減少。席効率を上げていった場合は、従業員確保の問題あり。                                                                                                       | 席効率の向上<br>従業員の確保       | 日本料理        |
|       | 昨年、公立高校入試が一回のみに変更されたことに加え、高校の就学支援金の支給上限額が引き上げられたため、無理に公立高校を受験せずに単願推薦をもらって私立高校に進学を決めてしまう生徒が多くいた。その影響で、昨年は冬期講習や1月2月の売上が見込みほど上がらなかった。今年もその傾向が続くのではないかと懸念している。 | 受験の変化による<br>冬季講習売上への影響 | 学習塾         |
|       | 運賃据え置きの中、燃料高騰影響が大きく利益を大幅に圧縮している。                                                                                                                           | 燃料高騰による利益圧迫            | 一般貨物自動車運送業  |
|       | 新規ユーザ開拓に向けて奮闘している。                                                                                                                                         | 新規開拓                   | ソフトウェア業     |
|       | 売り物件が減少しており、地価も上昇。一般顧客からの需要は強い。やはり、世の中の情勢に影響されており、全体に元気が出ない。                                                                                               | 地価上昇<br>一般顧客の需要強い      | 不動産管理業      |



# 調査要領

調査期間

令和3年11月25日 ～ 令和3年12月7日

調査対象

柏市内128事業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率   |
|------|-------|-----|-------|
| 全産業  | 128   | 82  | 64.1% |
| 建設   | 31    | 17  | 54.8% |
| 製造   | 34    | 24  | 70.6% |
| 卸・小売 | 38    | 28  | 73.7% |
| サービス | 25    | 13  | 52.0% |

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

| 質問事項              | 回答欄                |         |         |                         |         |         |
|-------------------|--------------------|---------|---------|-------------------------|---------|---------|
|                   | 前年同月と比較した<br>今月の水準 |         |         | 今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し |         |         |
| a.売上高（出荷高）        | 1<br>増加            | 2<br>不変 | 3<br>減少 | 1<br>増加                 | 2<br>不変 | 3<br>減少 |
| b.採算<br>（経常利益ベース） | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                 | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |
| c.仕入単価            | 1<br>下落            | 2<br>不変 | 3<br>上昇 | 1<br>下落                 | 2<br>不変 | 3<br>上昇 |
| d.従業員             | 1<br>不足            | 2<br>適正 | 3<br>過剰 | 1<br>不足                 | 2<br>適正 | 3<br>過剰 |
| e.業況              | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                 | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |
| f.資金繰り            | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                 | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |

質問B 業界内のトピック（記述式）

|  |
|--|
|  |
|--|

## ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

## ※DI値と景気の概況

| DI ≥ 50                                                                                     | 50 > DI ≥ 25                                                                              | 25 > DI ≥ 0                                                                                 | 0 > DI ≥ ▲25                                                                                | ▲25 > DI                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特に好調<br> | 好調<br> | まあまあ<br> | 不振<br> | 極めて不振<br> |